

北海道算数数学教育会中学校部会会報

す う が く

北海道算数数学教育会
中学校部会発行
<http://hokusuukyuu-cyuu.com/>

第64回 北海道算数数学教育会 研究大会のお誘い

「社会に生きる、社会に活かす」算数・数学教育の探究
「生きる力」を育てる数学教育の実践研究北海道算数数学教育会 中学校部会長
札幌市立光陽中学校長 美馬 敦子

初秋の風のさわやかに渡る季節となりました。北数教の会員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。私は、今年度北数教中学校部会長を仰せつかりました美馬と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、昨年(平成20年)3月新学習指導要領が告示され、秋にはそれに伴う移行措置が示されました。中学校では、24年度の完全実施に向けて今年度から移行措置を実施しているところ です。

新しい時代にふさわしい教育の在り方を求めて、平成18年に教育基本法が改正され、続いて教育三法の改正と教育改革が進んでまいりました。各学校が教育課程の編成や実施を図る中で「確かな学力」を育むにあたり重視すべき点として、①基礎的・基本的な知識・技能の習得②知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等育成③主体的に学習に取り組む態度(学習意欲)を養うことの3点が示されました。そして、新しい学習指導要領の数学科の目標は、「数学的活動を通して、数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則についての理解を深め、数学的な表現や処理の仕方を習得し、事象を数理的に考察し表現する能力を高めるとともに、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、それらを活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる」となっています。目標に「数学的活動を通して」と「表現する能力」が加えられ、領域も4領域に改められ、授業時数も増加しました。

これまでの北数教では「未来を開く算数・数学教育の創造」という研究主題を掲げ、小・中・高の各部会で講習会、公開授業・分科会、領

域別分科会を通して新しい情報の提供、研究成果の発表等、研究の積み上げをしてきました。私たち中学校部会においては、研究主題を『「社会に生きる、社会に活かす」算数・数学教育の探究』を育てる数学教育の実践研究』と設定し、研究を進めてきました。昨年は、講習会に埼玉大学金本良通様を迎え、新学習指導要領の強調点～「表現する力」と「活用」そして数学的活動～と題してお話いただきました。また5つの特設授業をもち、領域別分科会では多くの先生たちからレポートをいただき充実した研究大会でした。北海道の数学教育においてその成果は極めて大きく、数学に携わるものにとって大きな示唆を与えてくれる大会であったと思います。

さて今年度、北数教では、研究主題として『「社会に生きる、社会に活かす」算数・数学教育の探究』を掲げ、10月8日(木)、9日(金)の両日にわたり空知・岩見沢にて第64回北数教研究大会を開催します。1日目は午後から岩見沢市立東小学校、岩見沢市立東光中学校、北海道岩見沢西高等学校を会場にそれぞれ特設授業・授業分科会を行い、2日目は岩見沢市まなみーるで講習会、領域別分科会、閉会式を予定しています。会員の研究成果を交流し、日々の実践に生かせるものになることを願って、開催地の3ブロック空知地区を中心に、研究大会の準備を進めてきました。これまでの本会の取組みを大切に、生徒の視点に立った実践研究をさらに継続していき、生徒が数学の基礎的・基本的な知識や技能を身につけ、思考力や表現力を高め、学ぶことの楽しさ、数学のよさを実感できるように、北海道の数学教育がより一層充実し発展するためにも、一人でも多くの方々の参加をお待ちしております。

「第64回 北海道算数数学教育会 研究大会」特設授業について

研究大会 1 日目の 10 月 8 日（木）に岩見沢市立東光中学校で行われる特設授業に向け、以下の特設授業者、授業協力者が中心になって授業作りが行われていますのでご紹介いたします。

学年	題材名・授業者	◎授業責任者・協力者	◎分科会助言者 ○司会者 ☆記録者
1 年	「比例と反比例」 高岸 春二 及川 正行 (岩見沢清園中)	◎生田 敏行 (岩見沢 緑中) 近藤 恵 (岩見沢 明成中) 鴨川 勝之 (岩見沢 光陵中) 及川 正行 (岩見沢 清園中)	◎三橋 功一 (教育大札幌校教授) ◎辻 宏子 (教育大釧路校准教授) ◎井村 信 (由仁町 由仁中教頭) ○近藤 恵 (岩見沢 明成中) ☆鴨川 勝之 (岩見沢 光陵中)
1 年	「平面図形」 一ノ瀬健太郎 近藤 恵 (岩見沢明成中)	◎鈴木 隆 (岩見沢東光中) 斎藤 基 (岩見沢上幌向中) 鬼原 義彦 (岩見沢 光陵中) 南部 一弘 (岩見沢 豊中)	◎杉山 佳彦 (教育大釧路校教授) ◎藤原 雅宏 (上川教育局指導主事) ◎阿久津淳子 (長沼町 南長沼中教頭) ○斎藤 基 (岩見沢 上幌向中) ☆鬼原 義彦 (岩見沢 光陵中)
1 年	「比例と反比例」 池田 俊介 (岩見沢光陵中)	◎小泉 寧 (岩見沢 清園中) 馬淵 貴之 (岩見沢 栗沢中) 工藤 貴夫 (岩見沢 緑中) 樽石 ミナ (岩見沢 豊中)	◎久保 良宏 (教育大旭川校教授) ◎鈴木 利春 (函館 日新中校長) ○馬淵 貴之 (岩見沢 栗沢中) ☆工藤 貴夫 (岩見沢 緑中)
2 年	「平行と合同」 多田 光次郎 三國 均 (岩見沢北村中)	◎二階堂 充 (岩見沢 光陵中) 浅倉 哲也 (岩見沢 明成中) 森田 丈介 (岩見沢 栗沢中) 伊藤 記子 (岩見沢 北村中)	◎宮下 英明 (教育大札幌校教授) ◎土田 雅満 (滝川滝川第三小校長) ○朝倉 哲也 (岩見沢 明成中) ☆森田 丈介 (岩見沢 栗沢中)
3 年	「相 似」 上村 康人 (岩見沢東光中)	◎曳田 一郎 (岩見沢 豊中) 堀 文彦 (岩見沢 光陵中) 佐藤 昭彦 (岩見沢 緑中) 中澤有未代 (岩見沢美流渡中)	◎相馬 一彦 (教育大旭川校教授) ◎竹内 結美 (道立研究所研究研修主事) ◎島 義幸 (安平町 追分中教頭) ☆佐藤 昭彦 (岩見沢 緑中)

第64回 空知・岩見沢大会 中学校部会の日程

【1日目】 10月8日(木)



岩見沢市立東光中学校

13:00 13:25 14:15 14:35 14:50 16:20

受付	特設授業	休憩	部会総会	授業分科会
----	------	----	------	-------

【2日目】 10月9日(金)

岩見沢市まなみーる

9:00 9:20 9:50 12:20 13:30 16:00 16:10

受付	開会式	講習会	昼食	領域別分科会	閉会式
----	-----	-----	----	--------	-----

「第64回 北海道算数数学教育会 研究大会」領域別分科会発表内容の概要

研究大会 2 日目の 10 月 9 日（金）に「岩見沢まなみーる」で行われる中学校部会領域別分科会の内容を、「大会紀要」に寄せられた原稿から転載させていただきました。

第 1 分科会 学習指導法 I

～授業への意欲・姿勢を育てるために～

1-1 基調発表

根室市立柏陵中学校 岸本哲典

札幌市立向陵中学校 菅原 岳

- (1) 研究発表および発表者
- (2) 発表の概要
- (3) 討議の内容
- (4) 助言内容
- (5) 残された問題

平成20年度全国学力・学習状況調査の結果が昨秋、報告されました。根室管内の数学の平均正答率は北海道の平均より数学A・数学Bともに低く、道内で見てもいちばん低い結果でした。

根室に赴任し、教室へ初めて行った日、学習に対して無気力な生徒が大半を占めていたことをはっきりと覚えています。報告からは「できない」「わからない」を感じてしまいましたが、「やる気がないからやらない」「やる意味がわからない」という声が教室中に広がっていたように感じました。今まで取り組んできた、数学を学ぶ楽しさを実感できるような授業の進め方や、学習に対する姿勢を高める手立てを発表したいと思っています。

諸先生方のご指導、ご助言をいただき、反省・改善を図り、今後の授業に生かしていきたいと思っています。よろしくお願いします。

1-2 基礎的・基本的な知識・技能の習得の

ための学び直しについて

～ 円周角の学習を通して ～

札幌市立北辰中学校 新谷和彦

平成19年の改正学校教育法により、学力の重要な要素のひとつとして「基礎的・基本的な知識・技能の習得」が明確化された。

今年度は新学習指導要領移行措置初年度にあたり、新課程の内容等について、各校で様々な取り組みが、試行錯誤の中行われている。しかし、指導時数の増加や内容の変更などについては大きく取り上げられ、その中身も周知されつつあるが、それと同じくらい重要な「学び直しの機会」については軽視されがちなのではないだろうか。

本発表は、「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のために「学び直しの機会」をどのように授業の中に設定すればよいか、円周角の定理の指導を通して、考察したものである。

新学習指導要領完全実施の前に、学び直し等についてご指導、ご助言をいただき、さらに今後の研究にいかしていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

1-3 数学の基本的な学習習慣の形成を

目指して

1-4 数学的な考え方が身につく授業について

赤平市立赤平中学校 廣野勝昭

数学という学問体系は、科学の根底を支える最も重要な概念である。指導要領の変遷を考えると、私たちが義務教育として子どもたちに身につけさせたい数学は様々な側面を持つ。

子どもたちの学びへの意欲が低下している今日、どのように数学への関心を高め、理解を深めさせるかが問われている。これは、テストでよい点を取るためだけでなく、数学的な考え方を通して社会を見つめる目を育てることである。

そのためには、計算が上手にできることを優先するのではなく、その問題がどのような意味を持ち、どのような考え方に基づいて解決されるのかという視点で学ぶことが大切である。

代数の入り口に立つ中学生にとって、数学がどのように発展し、どこに向かっているのかを授業実践の視点としている。みなさんのご意見をいただきながら、今後の授業改善に生かしたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

第 2 分科会 学習指導法Ⅱ

2-1 基調発表

札幌市立厚別南中学校 安岡賢隆

- (1) 研究発表および発表者
- (2) 発表の概要
- (3) 討議の内容
- (4) 助言内容
- (5) 残された問題

2-2 学習のつながりを意識させる授業展開、 まとめのあり方について

恵庭市立恵明中学校 吉田 学

石狩管内教育研究会では、平成18年度より『進んで課題を解決しようとする生徒の育成』を研究主題に掲げ研究に取り組んできました。今年度は、〔学習内容の明確化〕〔単元内の学習を見通した評価問題〕〔自己評価カードの活用〕を具体的な取り組みとして研究を進めています。

今回では、「学習のつながり」に焦点を当て、自己評価カードを用いた毎時間のまとめを活用することが、生徒の学習をスムーズにする例を紹介します。また、その積み重ねによって、苦手意識の強い文章問題も順を追って解くことが可能になり、「生徒が授業に対する意欲を向上させる」ことを目指したレポートです。

勉強不足の発表となるため、諸先生方のご意見、ご指導を多数いただき今後の実践、研究につなげていきたいと思っております。よろしくお願いします。

2-3 子どもが「知りたい」、[学びたい]と 思う授業を目指して ～学習意欲を高める授業の工夫～

砂川市立石山中学校 佐々木 篤

今回改訂された学習指導要領。中学校数学科の目標の中には、「数学的な活動の楽しさや数学のよさを実感し」という文言があります。実感させるためには、これまで以上に数学を学ぶことへの意欲を高めることとともに、学ぶ過程にスポットが当てられたものです。

単にできあがった数学を知るだけでなく、数学を学ぶことの楽しさや意義を実感できる場面を設定することを意識し、実践をし、砂川市教育研究会算数・数学サークルの中でも実践交流を行ってきました。

今回の発表では、子どもが「知りたい」、「学びたい」と思える場面や活動を意識して行った実践を通して、「数学的な活動の楽しさや数学のよさを実感させる」ことをテーマに全道の多くの先生方と交流できればと考えております。諸先生方のご指導、ご助言をよろしくお願いいたします。

2-4 板書計画を学習指導案に入れることの 提案

旭川市立東鷹栖中学校 志満香奈枝

私は、よい授業を行うために、授業改善を目標に実践や研究を続けている。授業改善に関することはいろいろあるが、そのひとつとして板書計画がある。

私は、板書計画を毎時間学習指導案に入れるようにしている。板書計画を入れるようになってから、授業が改善されてきたことを実感している。事前に板書計画を立てることは、教師にとっても生徒にとってもよさがある。

本研究では、板書計画を立てたときと立てないときの板書を比較し、それによって授業のどのような点が改善されたのかを示す。また、板書計画に、具体的にどのような板書内容を入れればよいかを提案する。



第 3 分科会 問題解決・課題学習**3-1 基調発表**

札幌市立福井野中学校 長谷川英和

- (1) 研究発表および発表者
- (2) 発表の概要
- (3) 討議の内容
- (4) 助言内容
- (5) 残された問題

3-2 「考える」力を育てる学習活動の

展開を目指して

～3 学年新領域「資料の活用」の

指導計画の作成を通して～

旭川市立神楽中学校 大柄洋樹

旭川市教研では、「一人一人の学ぶ力を高める算数数学教育の実践的研究」を主題に「問題解決的な授業を通して、個々の数学的に考える力を育て伸ばす」研究を進めています。その実践を支えているのが旭川市教育研の中学校部会で作成している全単元、全時間の指導計画、いわゆる「問題配列表」です。

前回作成したから採用される教科書が教育出版から東京書籍に変わり、教科書の問題を活用するという観点からも「問題配列表」の見直しが急がれています。この作業が昨年度から開始され、平成23年に完成する見通しで現在作業を進めているところです。

今回は指導要領の改訂で新領域として加えられた「資料の活用」に焦点をあて、たたき台としての指導計画を作成してみました。学習指導要領の目指す、数学的な活動を保障することを考慮に入れ、統計学の裏付けを取り入れながらの作成となりました。何分、実践が伴わない指導計画なため、今後の改善余地が多く残されていると思います。全道のみなさんの厳しい目でご指導、ご批判をいただき、教科書が公開されたときに慌てることなく指導計画を修正できるようご支援をいただきたいと思ひます。

**3-3 問題解決的な学習の充実を目指して**

～一人一人が取り組める問題を通して～

雨竜町立雨竜中学校 宮田知己

「算数・数学嫌い」「理系離れ」が叫ばれて久しく、本校でも3分の1の生徒が「数学が嫌い」とアンケートに回答しています。

全ての生徒に数学を「好き」になってもらうのは不可能ではあるが、数学が「好き」な生徒をできる限り増やし、よりいきいきと生徒が活動する授業を展開したいというのが、教師としての願いであると思ひます。

今回は、①知的好奇心を揺さぶる、②1時間の中にどの生徒でも学習活動に取り組める場面を設定する、③既習事項との関連を意識させる、という3点を意識した問題解決的な学習の実践について発表させていただきます。不十分な部分も多くあるかと思ひます。諸先生方から多くのご指導、ご助言を賜りたいと存じますので、よろしくお願ひいたします。

3-4 論理的な思考力・表現力が

育成される授業とは

～2年間の実践を通して(中間発表)～

札幌市立中の島中学校 越田公美

本研究は、北数教中学校部会の札幌市ブロックで平成19年7月に発足したグループ研究のひとつである。本グループでは、「自己との対話を行い、数学的な見方や考え方を表し、それを伝え合うことで、数学的な表現力・論理的な思考力を高めることができる」という研究仮説のもと、実践研究を行っている。「自己内対話が行われていること」、「数学的な見方や考え方を表していること」、「数学的な見方や考え方を伝え合っていること」等をどのように見取ったかなど、これまでの研究の過程、成果と課題を発表者の実践を中心に発表したいと考えている。なお今回の発表は、平成22年秋に予定している全道大会における研究発表の中間報告となる。諸先生方のご指導、ご助言をいただき、今後の研究につなげていきたいと思ひます。よろしくお願ひ致します。

第 4 分科会 学習指導法Ⅲ 教材・教育機器

4-1 基調発表

札幌市立星置中学校 大久保圭介

- (1) 研究発表および発表者
- (2) 発表の概要
- (3) 討議の内容
- (4) 助言内容
- (5) 残された問題

4-2 授業でのプレゼンテーションソフトを

利用した指導実践

美唄市立東中学校 竹田継寿

コンピュータを利用した授業作りは、勤務先の環境にかなり左右される現状があります。本校にプレゼンテーションソフトが導入されたのは、昨年です。コンピュータ室の整備が進み体制は整ってきていますが、教室での通常の授業で数学的な学習活動につながる実践は、なかなか難しいものです。

プレゼンテーションソフトは、比較的誰にでも使いやすく、動きのあるイメージを伝える教材開発のひとつの手段になり、学習効果を高められると考えています。

日常の授業の中での利用法、授業の中での位置づけとその実際のあり方について、これまでの実践を中心に発表します。どうぞよろしくお願いいたします。

4-3 学力向上を目指した基礎基本の

定着について

～計算力の向上の取り組みを通して～

恵庭市立柏陽中学校 小関展彰

「学力が低下している」と言われて久しくなりますが、以前と比べて何が変わったのでしょうか。「学ぶ意欲の低下」ということも言われていますが、子どもの意欲に変化が起きたのでしょうか。確かに、子どもを取り巻く環境は大きく様変わりをしました。しかし、子どもの持つ能力、意欲が

変化したわけではないと考えています。

「わかる」「できる」を実感させるための模索を通し、まずは計算力の向上、そして、そこを入口として学力を向上させるために実践してきたことを発表させていただきます。

現在も暗中模索が続いています。勉強不足で、不十分な点も多いと思いますが、多くの先生方からのご指導、ご助言をいただき、今後の実践に活かしていきたいと考えていますので、よろしくお願い致します。

4-4 「確かな学力」を育む授業を目指して

～「1次関数の利用」の実践より～

函館市立椴法華中学校 長田洋幸

函館市中学校数学教育研究会では、「学ぶ楽しさを知り、興味関心を高める指導のあり方～基礎・基本の定着を目指す学習指導～」を主題とし、研究を進めてきた。今回の研究発表では、その実践の中から、「1次関数の利用」の授業を紹介する。

平成19年度の全国学力・学習状況調査のB問題6を題材として、移動の様子をグラフや文章で表す数学的活動を取り入れた授業実践を行った。指導案や生徒のワークシートをもとに、「自ら学ぶ意欲や表現力を高めること」、「活用する態度を育てること」などをねらいとした授業の展開例や手立て、課題の工夫等について考えたい。多くの先生方からのご意見、ご指導をいただくことを通して、生徒に「確かな学力」が育まれるような授業改善につなげていきたいと考えている。

【岩見沢市立東光中学校】データ

岩見沢市5条東14丁目

TEL 0126-22-0329

FAX 0126-22-1544

・岩見沢駅より約2km

・岩見沢駅ターミナルより中央バス乗車

「日の出台線」東光中学校で下車

《編集後記》

大会まで残すところあとわずかとなりました。部活の新人戦や学校祭準備とお忙しい時期とは思いますが、共に研鑽を積み重ねたいと思います。沢山の方のご参加をお待ちしています。

(文責：札幌・篠路中学校 本村光浩)

平成21年度 北海道算数数学教育会中学校部会 役員及び事務局員

【事務局】

〒063-0848 札幌市西区八軒8条西8丁目1-1 札幌市立八軒中学校 Tel 011-631-3517 Fax 011-615-6648

顧問 武村宏夫 工藤政之 難波信之 小西 穰 小笠原 茂 千葉幸治 篠岡静司 高谷 勲 高井 亨 田中稔夫
勝山一二三 寺田雄一 海藤勝雄 有澤隆二 高屋竹仁 林原幸雄 畑 邦彦 菅野誠弘 生富 勝 岸本信夫
石井史典 岩淵昌敏 安田 勉 越後 修 長沼祐三 辻脇征紘 有沢準一 石戸大機 大和田輝雄 岡野 優
佐々木建雄 加納正樹 豊田裕而 久田哲夫 三橋誠司

副会長 藤澤博之(札幌市栄町中長)
部会長 美馬敦子(札幌市光陽中長)
副部会長 高根誠一(札幌市前田中長) 鷹橋淳治(札幌市藻岩中長) 常田拓孝(北広島市西の里中長)
増子 守(士別市士別中長) 坂上範夫(函館市五稜中長) 高倉弘光(釧路市阿寒湖中長)
監事 向井原保夫(札幌市稲積中長)

常任幹事
〔1ブロック〕 常田拓孝(北広島市西の里中長) 播磨正典(小樽市西陵中) 佐藤 保(旭川市神居東中長) 太田 徹(遠別町遠別中長) 佐藤慎吾(初山別村初山別中長)
〔2ブロック〕 岩田俊二(旭川市北星中頭) 大澤賢治(旭川市新町小頭) 田中義彦(旭川市旭川中頭)
玉置英樹(旭川市神楽中) 千葉雅樹(旭川市広陵中) 常盤慎一(旭川市緑が丘中)
本間文敏(旭川市北星中)
〔3ブロック〕 加藤俊一(函館市港中長) 鈴木利春(函館市日新中長) 十河人士(長沼町南長沼中長)
松原真一(せたな町北檜山中頭) 島 義幸(安平町追分中頭)
〔4ブロック〕 川上松美(帯広市帯広第一中長) 平野公規(池田町池田中長) 井出賀津雄(帯広市川西中長)
小竹和孝(帯広市緑園中) 高橋謙一(清水町御影中)
〔5ブロック〕 庄司達郎(札幌市厚別南中長) 藤井洋一(札幌市真駒内中長)
武田隆二(札幌市あやめ野中長) 小竹 悟(札幌市篠路中長)
石橋徹也(札幌市羊丘中長)

代議員 橋本直樹(神恵内村神恵内中長) 沼田 守(赤井川村赤井川中長) 栗原 均(旭川市永山中長)
小野浩一(旭川市広陵中長) 安田順市(旭川市旭川第二中長) 国井真人(旭川市愛宕中頭)
内村昌弘(名寄市名寄東中頭) 久松武夫(士別市士別南中頭) 岡本 勉(札幌市平岡緑中長)
里谷 彰(札幌市陵北中長) 佐藤 潔(札幌市月寒中長)

事務局長 國島孝夫(札幌市八軒中)
事務局次長 山本哲也(札幌市栄中) 細川敏明(札幌市向陵中) 相原健吾(札幌市北栄中)
佐々木崇博(札幌市もみじ台南中) 中山勝喜(札幌市平岡中央中) 齊藤康夫(教育大附属札幌中)
総務部 部長 國島孝夫(札幌市八軒中) 副部長 山本哲也(札幌市栄中) 会計 齊藤康夫(教育大附属札幌中)
授業部 部長 相原健吾(札幌市北栄中) 副部長 石井貴司(札幌市厚別中) 部員 和泉明一(札幌市中島中)
研究部 部長 中山勝喜(札幌市平岡中央中) 副部長 村上靖彦(札幌市平岡緑中) 部員 大久保圭介(札幌市星置中)
庶務部 部長 佐々木崇博(札幌市もみじ台南中) 副部長 新谷和彦(札幌市北辰中)
部員 吉崎有紀子(札幌市新川西中) 川元 藍(札幌市明園中)
菅原 岳(札幌市向陵中) 佐藤美和子(札幌市日章中)

会員部 部長 細川敏明(札幌市向陵中) 副部長 本村光浩(札幌市篠路中) 部員 武富みゆき(札幌市もみじ台中)
地区委員
〔1ブロック〕 石狩地区 常田拓孝(北広島市西の里中長) 後志地区 橋本直樹(神恵内村神恵内中長) 小樽地区 未定
〔2ブロック〕 上川地区 増子 守(士別市士別中長) 旭川地区 田中義彦(旭川市旭川中頭) 宗谷地区 未定
留萌地区 太田 徹(遠別町遠別中長)
〔3ブロック〕 渡島地区 高瀬輝彦(森町砂原中長) 函館地区 坂上範夫(函館市五稜中長)
桧山地区 松原真一(せたな町北檜山中頭) 胆振地区 島 義幸(安平町追分中頭)
苫小牧地区・室蘭地区・日高地区 未定 空知地区 十河人士(長沼町南長沼中長)
〔4ブロック〕 釧路地区 高倉弘光(釧路市阿寒湖中長) 根室地区 佐藤弘樹(根室市花咲港小長) 十勝地区 未定
帯広地区 井出賀津雄(帯広市帯広西中長) 網走地区 竹花史康(網走市網走第三中頭)
〔5ブロック〕 札幌地区 高根誠一(札幌市前田中長)

統括事務局長 長山 浩(札幌市北都中長)
統括事務局次長 鈴木 康裕(札幌市宮の森中)
統括事務局員 宮本 裕(札幌市伏見中) 上田雅也(教育大附属札幌中) 岡田直也(札幌市美香保中)
三浦敦司(札幌市明園中) 伊藤道男(札幌市陵北中) 中澤宏佳(札幌市東栄中)